

町の人口
(42.11月末現在)
人口 29,895
男 14,929
女 14,966
世帯数 61,912
前月との比較
人口-215 世帯-6

12月9日 (1967)
No. 240
毎月1回各家庭に配布

水巻報

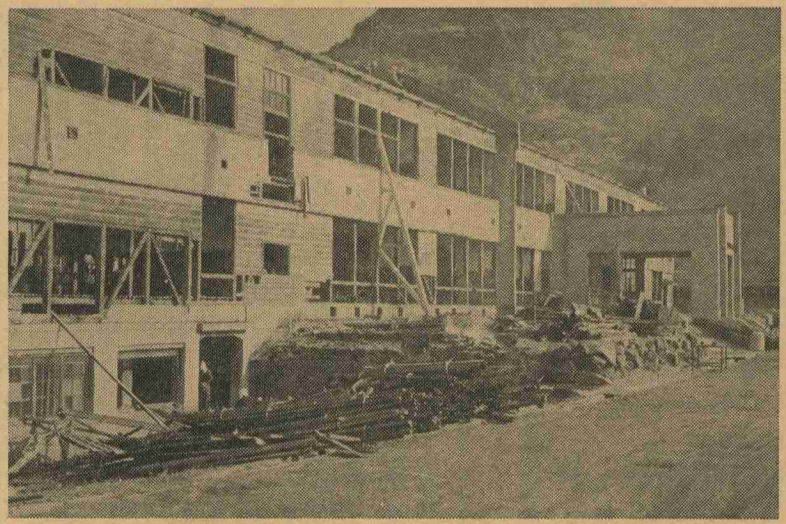
12月の納税

12月は固定資産税第三期分の納税月です。お手もとの納付書で、速賀信用金庫(役場)、福岡銀行にお納めください。
納期は12月25日までです。

発行所 福岡県遠賀郡水巻町役場 発行人 西尾 司 編集人 広報編集委員会(企画室内) 印刷所 冷平田印刷合資会社 電話(代表) 0536

小末頃 改築工事始まる

鉄筋、三階建、二十六教室



頃末小学校改築工事がいよいよ起工式が行なわれました。現在の校舎は、昭和十六年に建築されたもので老朽化しており、芦屋基地ジェット機の騒音もひどく、このため改築計画は二年前からたてられていたもので、今年度町重要施策のひとつとなつていま行なわれ、一年後にはまったく新しい校舎となる予定です。

新校舎は、総工費約一億四千万円で、防音、換気装置が設備された鉄筋コンクリート造りで、三階校舎の充実には、いっそう力を注いでいく方針をもちています。

梅曜窓相談

交通事故や登記問題など

町では、毎週木曜日を窓口相談でよいかわからず、どこにたすね日とし、町民のみならずのいろいろな問題のご相談に際して、役場が相談者にかわって調べてお答えしようというものです。毎週木曜日は係員がおまちし、窓口係へおきがるに申す登記のしかたなど、自分ですら

年金 恩給

有利に変わっています

遺族年金、遺族給与金

1 日華事変中、事件地において傷病を受け死亡した場合、戦死等の遺族に支給される遺族給与金の十分の六の遺族年金が支給されています。先順位者一人に限って支給されていますが、次順位者にもこれが戦死の場合と同額になります。三五百円が支給されます。

2 祖父、父、父の父等が遺族年金、遺族給与金を請求する場合、「扶養することが出来る直系血族がないこと」が条件となつていますが、これがなくなりまし

種類	七才以上	六十五才以上	六十才以上
遺族年金	一一九、〇〇〇	一一一、〇〇〇	一一〇、〇〇〇
遺族給与金	八三、三〇〇	七七、〇〇〇	七四、〇〇〇

戦没者の父母に特別給付金

この法律は、一人息子を戦死させた戦没者の父母(孫)に、公務上の負担または疾病で死亡したため、昭和四十二年四月一日現在、公務扶助料、遺族年金等を受給するもの、昭和四十二年四月一日から適用されます。

1 昭和四十二年七月七日以降に公務上の負担または疾病で死亡した戦没者の父母(孫)に、公務扶助料、遺族年金等を受給するもの、昭和四十二年四月一日から適用されます。

運動あけす末歳にご協力ください

町民みんなが、明るく楽しいお正月を迎えられるようにと、歳末たすけあい運動が始められました。

みんなでお正月を

身寄りのないお正月、苦しい生活の中でがんばって働いておられる人々に、みなさん一人一人のあたたかい心をよせていただくように

お願ひします。 ことごとく大きくなって不用になった学用品や衣類、なればお金でもつけてあげてください。

役場厚生課で受けつけています。

町営住宅 入居者の募集

現在使用されている町営住宅が、空家になった場合の入居希望者を、つぎのとおり募集します。

申し込みをされたいと、入居資格等を調査のうえ入居者を決定し、昭和四十三年一月二十日以降、町営住宅に空家が生じたとき、順次入居していただきます。

一、町営住宅の場所
下二、二、垣添、頃末、猪熊の各町営住宅

二、規格、家賃
一 一種住宅
建坪 約十坪
家賃一、六五〇円、七〇〇円

二 二種住宅
建坪 約十坪
家賃一、二〇〇円、九〇〇円

三、入居資格
1 現に住宅に困窮しており、町五、申込方法
役場窓口係に備えてある申込書で、申し込みをしてください。
納税証明書、勤務証明書、米穀通帳が必要で

3 既に同居し、同居しようとする親族があること。

十二月十日から二十五日まで

無事故で十七年 優良運転者の表彰

四十一年から五十七年、十年以上無事故で、正し五〇四、四二二、四五一、一、い運転をしてこられた人々が、県公安委員会から「優良運転者」として表彰された。

優良運転者表彰者氏名(上から氏名、住所、優良運転年数、敬称略)

石塚 定雄 吉田三十七年
井上 保雄 頃末 十六年
光末 八郎 古賀 十六年
後藤 学 吉田一十五年
上川 大吉 片山区 十五年
吉田 十郎 頃末 十三年
坂口 嘉正 頃末 十三年
平田 一 樋口 十三年
原田 隆正 猪熊 十二年
栗田 安雄 古賀 十二年
高倉 穂積 頃末 十一年
宮崎 行雄 頃末 十一年
松島 保 中央区 十年
桑田 照男 吉田三 十年



水巻町の 救急病院は

日炭中央病院

年末になり、交通事故などの災害が増加しています。水巻町では日炭中央病院(頃末、電話六九一〇七三二)が救急病院に指定されています。

救急病院は、交通手段が不便な場合、安全歩行の励行を。

交通事故 年末は特に注意を

年末年始は、輸送力の増加や歩行者の混雑、また天候などの悪条件から、交通事故は毎年多発しています。十分注意をしましょう。

◎忘年会や新年宴会など、お酒を飲む機会が多いときです。せつたいに飲酒運転をしないようにしましょう。

◎幼児のひとりあるきや、道路上への飛び出しに注意を。

◎自転車の乗り方についても十分注意をしましょう。

◎酔っぱらってふらふら道路を歩くことはやめましょう。

◎こどもや老人、身体障害者などの道路横断、バスの乗り降りに注意をしましょう。

◎右側通行、歩道通行、横断歩道通行など、安全歩行の励行を。

議会の活動

今まで二回本町議会の内部活動についてお知らせしましたが、今回は、議会が国など外部に対して行なっている活動についてお知らせします。

通産省へ陳情

吉田地区住宅の町住化

水中改築も防衛庁へ

現在、町が中央を動かして実現の特殊事情からわしく説明し、しよつとしてる施策は、産炭地国から起債をうけることができる域としての町振興問題、他、水巻よう要請しました。これは、この中学校の防音校舎への改築、民生問題の実現の成否が現在の町財政安定施設(通称仮睡所)の建設、吉田地区炭住の町住化、遠賀川河口湖建設問題等があります。この問題の解決は、町が絶対の必要条件となっており、この陳情の結果、石炭局では、あらためて具体的な資料による検討を約束しました。

十二月議会の審議予定事項

十二月は、第六回定例会が十五日から招集される予定です。この議会で、現在までに予定されている審議事項の主なものはつぎのとおりとなっております。

- 1 昭和四十一年度決算の認定
- 2 昭和四十二年度予算の補正
- 3 水道事業について
- 4 助役、収入役の専任について
- 5 頃末小改築、みずほ団地造成工事の請負契約について
- 6 その他

地元議員とも義務教育施設の充実など

全国町村議長大が終ったあと福岡県の議長は地元選出の衆参両院議員に対し、各種の陳情を行ないました。

この活動のひとつとして、今回上京した議員団は防衛庁及び通産省石炭局に対し、前記懸案事項の陳情を強く行ないました。石炭局に対しては吉田地区炭住の町住化問題について、本町の町官住宅問題について、本町

地方自治法施行記念式典 郡議会代表で出席 入江議長

第十一回全国町村議長大が十一月十七日、東京都において開催され、本町から入江議長他各常任委員会の代表三名が出席しました。

全国町村議会議長大会開催

町村財政の充実要望

産炭地振興問題も

この大会では、現在全国の町村がかかっている諸問題が討議され、つぎのとが決議・要望されました。特にこの中で、産炭地域の振興に関する要望は関係地域の特殊事情による要望にもかかわらず、万場拍手のうちに決議されました。

- 1 地方税制の改正
- 2 地方交付税制度の改善
- 3 減税対策(国の施策による)
- 4 地方債の発行
- 5 地方債の償還
- 6 地方債の発行
- 7 社会教育施設の整備
- 8 産炭地域の振興

計画的に鉅費を処理し、鉅費復旧に伴う地元負担については全額解消をはかること

- 1 義務教育施設の整備
- 2 通学対策の強化
- 3 学校給食の改善
- 4 人件費補助の合理化
- 5 教材費国庫負担の合理化
- 6 幼稚園の整備
- 7 社会教育施設の整備
- 8 産炭地域の振興

歳末ご用心



防犯パレードをする水中プラスバンド

町防犯組合は十一月二十一日、二十五日の三日、このパレードは、全組合員(町間、猪熊、帆の各小学校鼓笛隊と民)の防犯思想の普及宣伝と、各南中学校プラスバンドの応援をえ、地域ごとの防犯組合の設立を早めて、防犯推進のパレードを行ないに確立しようとするのがねらいで

各区組合員多数の参加をえて盛大に行なわれました。毎年、歳末はいろいろな犯罪が目だっています。これも一人一人みんなの心がけで防げます。つきのことなどに注意して、明るいお正月を迎えてください。

- 家庭の防犯**
 - 戸締りは効果的にくふうを
 - 夜は室内を暗く、外を防犯灯で明るく
 - 現金や貴重品は分散して保管を
 - 家をあけるときは、近所たのんで出かけてきましょう
 - 押売りは、はっきりことわり相手にならないように
- 外出時の防犯**
 - 人の見ているところは、大づばらにお金を出さないこと
 - お金は、バック、買物カゴなどに入れておく
- 火災のシーズン**
 - もしものときは
 - 六九一〇一一九番へ
 - ことしも火災のシーズンになりました。空気が乾燥しており、火災の予防にはじゅうぶんな注意が必要です。火災は火の不始末にあるお金は、バック、買物カゴなどに入れておく

文芸

文化祭応募入選作品

第十七回「水巻町文芸作品募集」は、詩、短歌、俳句に多くの作品が寄せられました。働く人たちのコメディ、詩心、ロマンの一部をご紹介します。

詩

「一般の部」 鯉口区 今別府敏

「妻」 「本当にすまない、許しておく

「児童詩」 天賞 おかあさんの手 頃末小三年 有吉加代子

「短歌」 一首 首相発つ乱斗の中に一瞬の 鯉口区 今別府敏

かたくて つめたかった おはあちゃんの手 さわってみたい かたくて つめたたい おかあさんの手より すじがいはいあった わたしの手 さわってみたい すじが 少ない やわくて ぬくい どうして おかあさんの手 つめたいのだろう なせ

二席 老いませる母の顔はただひとつ ただ美しく死にたしという 梅ノ木区 内田宣良

俳句 三席 稲穂波雀おとしの煙々と 運動会の秋日和かな 新生街 山下由起

天賞 風に乗る来といはむしり楽を聴く 吉田区 松本匡生

地賞 干害の水をもらいに抗底へ 梅ノ木区 内田宣良